

# 芦別市林道施設長寿命化計画

(個別施設計画)

令和 3 年 3 月



芦 別 市

## 1 長寿命化計画の背景

### 背景

現在、芦別市が管理する林道橋は1橋梁であり、既に建設後32年が経過している。建設後50年を経過している高齢化橋梁ではないものの、今後の維持管理にあたっては「予防保全型維持管理」の考え方を導入し、定期点検による損傷状態の把握を行い、予防的な修繕を中心に計画的に進める。林道交通の安全性・信頼性を確保していくために、これまでの事後的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図ることを目的に林道施設長寿命化計画を策定する。

## 2 長寿命化計画の対象橋梁

### 対象橋梁

芦別市が管理する林道橋1橋を対象としています。

- 三角3号橋（林道 吉田の沢線）

## 3 長寿命化計画の基本的な方針

### 健全度の把握と基本的な方針

橋梁点検を定期的（1回/5年）に実施し損傷状況の把握に努め、維持管理の基礎となる点検データの蓄積を行う。また、橋梁の重要度に応じた定期的なパトロールや災害発生直後の臨時点検を実施し、橋梁の損傷状態の把握に努める。

#### 【パトロール】

- ・通常時（林道・橋梁）：路線毎に年3～4回の頻度で目視による確認
- ・災害・緊急時：豪雨（20mm/h）、地震時（震度4）などの災害発生時には即座に橋の状況を把握する必要があるため、パトロールを実施し確認する。（橋台・橋脚の洗掘、橋梁本体の異常の有無、ひび割れ発生などを注視）

## 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため日常的な道路パトロールを実施し、定期的な維持管理として路面排水や橋台沓座の周辺清掃などに努める。

## 4 長寿命化計画の効果

検討の結果、予防保全を導入することで修繕および架け替えに要する経費が今後60年で3千2百万円→9百万円（△2千3百万円）となり、計画の策定によって約7割の縮減効果が期待できる試算結果が得られた。

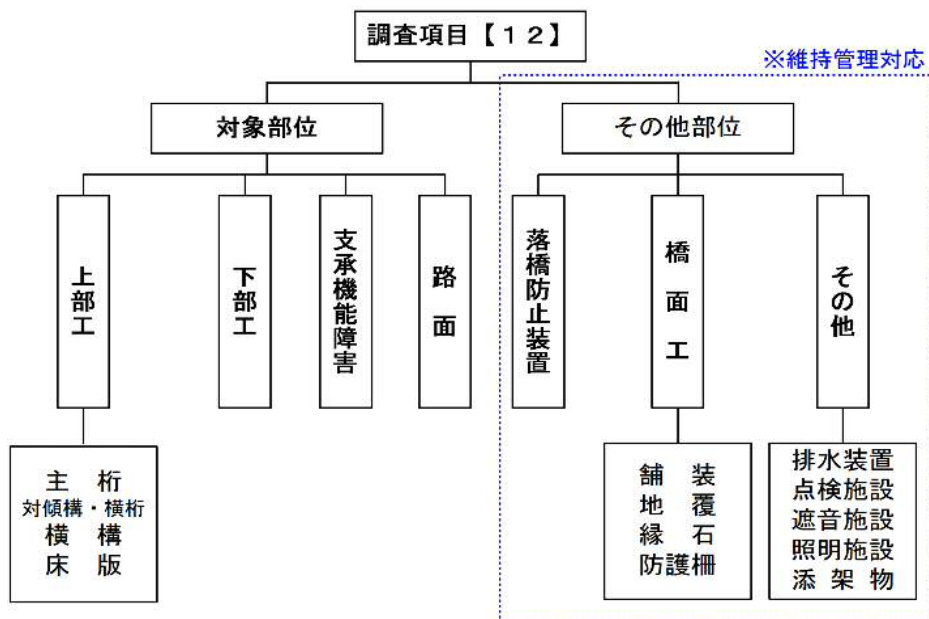
※上記費用はおおよその目安であり、今後も橋梁の点検データを蓄積していくことによって更に精度の良いシミュレーションが図れる。

## 5 橋梁調査結果

### 調査項目

橋梁点検は、「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）」に準じて実施した。

調査項目は、以下のとおりである。



## 部材の評価区分

各部材単位の健全性の診断は、以下の表の判定区分により定性的に判定した。

区 分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

## 6 計画策定担当部署および定期点検担当部署

### 計画策定担当部署

芦別市役所 経済建設部 農林課 林務係

〒075-8711 北海道芦別市北1条東1丁目3

Tel 0124-27-7378 Fax 0124-22-9696

### 橋梁点検担当部署

芦別市役所 経済建設部 都市建設課 土木係

〒075-8711 北海道芦別市北1条東1丁目3

Tel 0124-27-7380 Fax 0124-22-9696